

東北大学 まなび情報誌

TAKE FREE

まなぶひと

2018.12 月号

Vol.46

学ぶひととき、
学ぶひとたち
を応援します。

—天は東北、
志尚く—

東北大学関連イベント・インフォメーション

まなぶひと

2018
12月号
Vol. 046

■ごあいさつ

—東北大学 まなび情報誌「まなぶひと」—

大学は学生や研究者のためのもの、と思っはいませんか？実はそうでもありません。東北大学は、さまざまな分野での研究成果や保有する資産・空間を、地域のみなさまと広く共有したいと考えています。そこで生まれたのが、この「まなぶひと」。

東北大学が実施しているさまざまな公開講座、講演会、コンサート、企画展や公開施設など、地域のみなさまに広くご参加、ご来場いただきたいイベント情報等をお届けいたします。

「まなび」を愛するみなさまの「まなぶひととき」にお役立ていただければ、幸いです。

■もくじ

1. ごあいさつ	2
2. 社会のなかの東北大学	3
3. 特集 旧制二高企画展	4
4. イベントカレンダー	6
5. イベント詳細情報	10
6. 一般公開施設一覧	18
7. キャンパスマップ	19

社会に生きる東北大学

■暮らしに息づく、身近な東北大学を目指して。

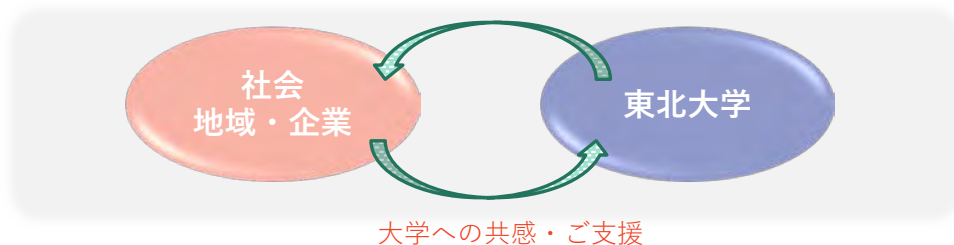
大学の使命はまず、教育・研究を通じて社会に有意な人材を輩出し、最新の研究成果を生み出していくことですが、もう一つ、大切な使命があります。それは地域社会との連携です。

東北大学は日本を代表する大学であるべきと同時に、東北、宮城、そして仙台に深く根付いた、地域のみなさまに身近な大学でなければなりません。

実践的なフィールドワーク、社会のニーズに応じたテーマの研究、また様々な文化事業などの社会連携活動を積極的に推進し、地域のみなさまに寄り添い、ご支援をいただけるよう努めていきたいと考えています。

みなさまの暮らしの中できずも歩み続ける東北大学に、どうぞご期待ください。

大学の教育・研究成果の還元・共有



■東北大学における主な社会連携事業

公開講座・講演会



- ・市民のためのサイエンス講座
- ・東北大学レクチャーシリーズ
- ・サイエンスカフェ・リベラルアーツサロン

地域連携



- ・中高生職体験、学校訪問
- ・仙台七夕花火祭
- ・アカデミックツーリズム

文化事業



- ・川内萩ホールフォーシーズンズ・プログラム
- ・かたひらロビーミニコンサート
- ・歴史的資産の保存・公開 等

コンベンションの推進



- ・コンベンション誘致に関する窓口の設置
- ・コンベンション開催、学校等主催行事への供与
- ・百周年記念会館川内萩ホールの運営

出前授業



- ・減災ポケット「結」プロジェクト
- ・楽しい理科の話
- ・サイエンスデイ

施設公開



- ・東北大学史料館
- ・総合学術博物館・理学部自然史標本館
- ・東北大学植物園
- ・東北大学附属図書館

東北大学をもっと身近に。もっとおトクに。萩友会。

萩友会はどなたでもご入会いただけます。大学を楽しむプレミアムなパスポート、ゲットしませんか？

【会費】プレミアム会員：1,000 円/年 永年会員：50,000 円

【特典例】総合学術博物館・植物園入場無料、川内萩ホールフォーシーズンズ・プログラム割引優待、講演会のご案内など。目印⇒⇒



しゅうゆうかい

検索

東北大学萩友会 TEL:022-217-5059

「天は東北、志尚く」

たか



1887（明治20）年、全国5つの「高等学校」の一つとして設置され、のちに東北大学に包摂された旧制第二高等学校。自由と自治を重んじ「雄大剛健」の校風で知られた旧制二高では、生徒たちや教授陣により実に生き生きと色鮮やかな学校生活が繰り広げられていました。そんな二高の歴史と文化の一端を紹介する企画展が、東北大学史料館で開催されています。



左：1946（昭和21）年12月、寮祭の日の二高生。背後に見えるのは蜂をあしらった寮祭のアーチ。上：1945（昭和20）年、二高自動車部が購入した「いすず」が届いたときの記念撮影。



～尚志像と蜂章裏話～

元は旧制二高の校庭だった片平キャンパスの中庭に建つ「尚志像（写真左）」は、旧制二高が百周年を迎えた1986年、宮城県出身の彫刻家佐藤忠良により制作されました。「尚志」とは『孟子』から取られた二高校友会の名前。旧制高校というと「蜜カラ」のイメージが強いですが、それは昭和に入ってから。明治大正期の二高生像をも併せて表現するには苦労したようです。二高の校章であった「蜂章」ですが、実は物によって蜂のデザインはさまざま。蜂の意味は「働き蜂のごとく勤勉に」とも。



最後の卒業生により寄贈されたバックル、ボタンに帽章など。



【土井林吉(晩翠)。1924年頃】

時は明治。近代の学校教育の礎が着々と整えられていった時代。市民の多くは尋常小学校や高等小学校を卒業した後は働くのが一般的で、高等学校、そして大学へと進学するのは本当にごく一握りのエリートだけでした。



【五色沼での二高アイスホッケーチーム】

最高学府である大学への進学や医師の養成

を目的とした二高の授業で特に重視されたのは、その後の専門的な学問に取り組むための素養となる外国語。名物教授と言われた栗野健次郎や土井林吉(晩翠)も英語の教鞭をとっていました。

部活動もまた非常に活発で、生徒の人間形成において重要な役割を果たす学校行事と考えられ、野球やテニス、スケートなどの近代スポーツも外国人教師を介して伝わりました。二高のスケート部が使用した現在の仙台市博物館前の五色沼は、日本におけるスケート発祥の地でもあります。

二高の校風は「雄大剛健」として知られていますが、それを樹立したといわれる人物が第五代校長で倫理学者であった三好愛吉です。彼は二高の寄宿舍「明善寮」の隣に住み、その住居は寮生から丸見えでしたが、「私の生活の総てが教育です」というほど、芯からの教育者でした。

広々とした野に出た時に感じるような闊達な心や、都会にはない東北の厳しい自然の重厚さ、そして逆境に堪える剛健さを美風として語り、それに感化される形で「雄大剛健」の学風が確立されていったといえます。

昭和初期に「弊衣破帽」の「蛮カラ」スタイルが流行したものの「外見に惑わされない」という二高精神の表れのひとつ。

学風とは何なのか。時を超え継承された精神とはどのようなものだったのか。目に見えないけれど確かにそこに存在した「尚志」の心を映す品々が、今に伝えられています。



右：三好愛吉(1870-1919)の肖像。当時野球は舶来の”狡賢い”スポーツとして嫌厭されていたが、三好はその戦略的要素が教育につながるとして擁護していたという。今に伝わる試合開始前の”礼”は、その狡さを薄めるために三吉が導入したものの。左：野球部の練習風景。1914(大正3)年頃。



東北大学史料館企画展

「蛮カラ学生の学び舎～旧制二高とキャンパスの変遷～」

【開催期間】～12月14日(金)まで 【休館日】土日祝(12/2は開館)

【開催時間】10:00～17:00(土日祝は16:30まで)

【会場】東北大学史料館2階展示室

【問い合わせ】東北大学史料館 TEL:022-217-5040

無料
・
予約不要

詳しくは 2 の

チラシをご覧ください。



【東北大学史料館キャラクター ふみくん】





Event Calendar

2018.11.30 ~ 2019.1 東北大学関連 イベントカレンダー

区分	開催日	イベント名	会 場	時 間	問合わせ先・その他
MOOC 【開講中/ 受付中】	講座ごと	1 東北大学 MOOC 無料オンライン講座	オンライン (一部対面学習あり)	随時	東北大学オープンオンライン 教育開発推進センター web 申込 
企画展 【申込不要】 	9/28(金)- 12/14(金)	2 史料館企画展「蛮カラ 学生の学び舎～旧制二高と キャンパスの変遷～」	東北大学史料館 2 階展示室 ■片平キャンパス	[平日] 10:00-17:00 土日祝休館 12/2(日)は開館 (16:30 まで)	東北大学史料館 TEL:022-217-5040 無料 
企画展 【申込不要】 	10/30(火)- 3/3(日)	3 国立科学博物館特別展 「明治 150 年記念 日本を 変えた千の技術博」	国立科学博物館 (東京・上野公園)	9:00-17:00 [休館日] 月曜(休祝日を除く), 12/28-1/1, 1/15,2/12	国立科学博物館 TEL:03-5777-8600 入場料:一般・大学生 1,600 円, 小中高生 600 円, 金土曜限定ペア得ナイト券 2 名 1 組 2,000 円 
フォトコンテスト 【募集中】 	10/31(水)- 1/31(木)	4 東北大学 112 周年フォト コンテスト (秋-冬) 「あな たが世界に紹介したい・自 慢したいもの」	【募集カテゴリ】 A:東北大学の風景・建物 B:研究・教育・サークル活動 C:宮城の自然・暮らし・ 伝統・文化・名産品		広報室フォトコンテスト係 photo_contest@grp.tohoku.ac.jp メール申込  募集要項要確認⇒
公開講座 【申込不要】 	11/30(金)	5 美食のヨーロッパ文化学 [第4回]「ワイン市場とワイン法の グローバル化を考えるー競争に さらされる EU 産ワインー」	マルチメディア教育 研究棟 6 階大ホール ■川内キャンパス	16:20-17:50 15:50 開場	国際文化研究科 野村研究室 TEL:022-795-7593  無料
公開講座 【申込不要】 	11/30(金)	6 第 59 回 IRiDeS 金曜フォーラム 「北海道南西沖地震から 25 年、 日本海・離島の災害研究」	災害科学国際研究所 1 階会議・セミナー室 ■青葉山キャンパス	16:30-18:00	災害科学国際研究所 広報室 TEL:022-752-2049  無料
公開講座 【申込不要】 	11/30(金)	7 2018 年度後期 物理学の最前線第 3 回 「超高温物理学最前線 ～宇宙の始まりは クォークのスープ?～」	理学部物理系講義棟 3 階 318 号室 ■青葉山キャンパス	17:00-18:00	理学研究科物理学専攻 石原 照也 t-ishihara@m.tohoku.ac.jp  無料
公開講座 【申込不要】 	12/1(土)	8 【出版記念シンポジウム】 自然資本を活かした防災と震災復興 :東日本大震災からのグリーン復興と 今後の展開※チラシなし	生命科学研究科 生命科学プロジェクト 総合研究棟 1 階 講義室 ■片平キャンパス	14:00-	生命科学研究科広報室(高橋) TEL:022-217-6193  無料
公開講座 【申込不要】 	12/2(日)	9 SMMA クロスイベント 第 37 回市史講座・東北大学史料館企画展公開講座 「近代の風景～地図・古写真・公文書でみる仙台」	片平さくらホール ■片平キャンパス	13:30-16:00 13:00 開場 [キャンパス建物ツアー] 12:30-13:15	東北大学史料館 TEL:022-217-5040  無料/定員 156 名 [キャンパス建物ツアー]先着 40 名
公開講座 【募集中】 	12/2(日)	10 2018 年コスモス国際 賞受賞記念講演会 特別対談 オギュスタン・ベルク×赤 坂憲雄	仙台国際ホテル	13:30-16:30	公益財団法人国際花と 緑の博覧会記念協会 企画事業部第一課 TEL:06-6915-4516  無料/定員 200 名 はがき,メール FAX,web 申込

詳細は P10 からの詳細情報、同じ番号のチラシをご覧ください。

区分	開催日	イベント名	会 場	時 間	問合わせ先・その他
公開講座 【募集中】 	12/4(火)	11 イノベーションフォーラム in SENDAI 2018	仙台市中小企業活性化 センター目的ホール (仙台市青葉区中 央 1-3-1 AER5F)	13:30-	「仙台でイノベーションを 考える 3 日間」事務局 TEL:022-795-5281  無料/定員:250名/web 申込
公開講座 【申込不要】 	12/4(火)	12 災害人文学研究会 2018 年度 第 6 回研究会「ドキュメンタリー映画 『赤浜ロックンロール』を観る」	講義棟 B 棟 101 室 ■川内キャンパス	18:15-20:30	東北アジア研究センター 災害人文学ユニット (是恒) TEL:022-795-3842  無料/定員 100 名
公開講座 【募集中】 	12/5(水)	13 COI 東北拠点シンポジウム 「人生 100 年時代の健康戦略『旅』が 生み出すヘルスケアの進化系」	COREDO 室町 3 (東京都中央区日 本橋室町 1-5-5)	13:00-17:00 12:00 開場	産学連携機構イノベーション 戦略推進センター事務支援室 TEL:022-752-2186  無料/先着 200 名/web 申込
公開講座 【募集中】 	12/7(金)	14 知のフォーラム 5 周年記念特別講演会 「研究成果を社会に実装可能なものとする思考軸 と教養 ～人文科学・社会科学研究の観点から～」	文科系総合講義棟 204 講義室 ■川内キャンパス	16:30-18:00 16:00 開場	知の創出センター (ジューターチップ) TEL:022-217-6095  無料/web,TEL,FAX 申込
公開講座 【申込不要】 	12/8(土)	15 第 15 回東北大学男女 共同参画シンポジウム 「今と未来の『共働き』を考える」	翠生ホール (青葉山 commons 2 階) ■青葉山キャンパス	13:00-17:00	総務企画部総務課 TEL:022-217-4811  無料
公開講座 【募集中】 	12/9(日)	16 市民のためのサイエンス講座 2018 「最新脳科学が解き明かす 脳とは何か？ ～脳を知って心を知る～」	百周年記念会館 川内萩ホール 2 階会議室 ■川内キャンパス	13:00-16:00 12:30 開場	読売新聞東北総局 TEL:022-222-4121  無料/先着 200 名/はがき、 FAX,メール申込/締切:12/3
公開講座 【申込不要】 	12/12(水)	17 第 159 回サイエンスカフェ 「医療に役立つソフトマテリアル」	せんだいメディアテーク 1 階オープンスクエア	18:00-19:45	社会連携課社会連携推進係 TEL:022-217-5132  無料/1Drink 付 ※サイエンスカフェポイント対象
コンサート 【申込不要】 	12/13(木)	18 第 20 回かたひらロビー ミニコンサート	片平北門会館 1 階 エントランスロビー ■片平キャンパス	12:10-12:50	社会連携課社会連携推進係 TEL:022-217-5132  無料
公開講座 【募集中】 	12/15(土)	19 サイエンスキャンパス第 18 回体験型科学教室 日立サイエンスセミナー「知っている物の知らない世界 ～電子顕微鏡を使って観察しよう！」	サイエンスキャン パスホール ■青葉山キャンパス	①10:00-12:00 ②13:30-15:30 	工学研究科・工学部 創造工学センター TEL:022-795-5047 無料/対象:小学 6 年- 中学 3 年/定員:各回 12 名 web 申込/締切 12/3
その他 【申込不要】	12/16(日)	20 故 西澤潤一先生の追 悼の会	ウェスティンホテル仙台 (仙台市青葉区一番町 1-9-1) 2 階グランドボールルーム ／3 階エルミタージュ	14:00-16:00 [一般献花] 15:00-	総務企画部総務課 TEL:022-217-4807 
公開講座 【募集中】 	12/19(水)	21 2018 年度東北大学経営セミナー in 登米 「地域の中小企業の事業革新～生き残りを 賭けた事業のイノベーションの考え方～」	中田農村環境改善センター 1 階多目的ホール (登米市中田町上 沼字西桜場 18)	17:30-19:30 17:00 受付開始	地域イノベーション研究センター TEL:022-217-6265  無料/定員 20 名/FAX, メール申込/締切:12/17
公開講座 【募集中】 	12/20(木)	22 ImPACT シンポジウム 「ImPACT が変革する災害対応」	TKP ガーデンシティ PREMIUM 仙台東口 ホール 10A (仙台市宮城野区榴岡 3-4-1)	13:00-16:25 12:30 開場	科学技術振興機構革新的研究 開発推進室シンポジウム担当 TEL:03-6380-9012  無料/定員:150 名/web 申込 締切:12/19 正午

区分	開催日	イベント名	会 場	時 間	問合わせ先・その他
公開講座 【募集中】 	12/21(金)	23 東北大学 SDGs シンポジウム 「持続可能な開発目標 (SDGs) の達成とグローバル人材」	仙台国際センター・桜	13:00-17:30 12:30 受付 開始	シンポジウム事務局 TEL:075-241-9620 無料/定員700名/web 申込 
公開講座 【申込不要】 	12/22(土)	24 将来の巨大地震を考える in CHIBA	TKP ガーデンシティ千葉 3 階シンフォニア A	13:00-17:00	東北大学総合学術博物館 TEL:022-795-6767 無料/先着 300 名 
公開講座 【募集中】 	12/22(土)	25 たまきさんサロン サロン講座 「マルハナバチって、どんなハチ？ ～カードゲームとお話で楽しむ、 ハナバチと花の世界～」	たまきさんサロン (環境科学研究科本館1階) ■青葉山キャンパス	13:30-15:00 	せんだい環境学習館たまきさんサロン TEL:022-214-1233 無料/抽選20名,対象:小学3年生以上 (小学生以下要保護者同伴) メール,はがき,FAX 申込 締切:12/11
公開講座 【募集中】 	1/11(金)	26 知のフォーラムプレミアム 5周年記念講演会「未来型医療」と 「ニュートリノ研究」をめぐる 「東北大学の最新研究」	日本橋ライフサイエンスハブ E 会議室 (東京都中央区日 本橋室町 1-5-5 室町ちばぎん三井ビル8階)	16:00-19:30 15:30 開場 	研究推進・支援機構 知の創出センター TEL:022-217-6091 無料(交流会:2,000 円) 定員:150 名/web 申込 締切:12/7
公開講座 【申込不要】 	1/11(金)	27 第 160 回サイエンスカフェ 「モンゴル遊牧民の移動のふしぎ ～人と自然の関係を考える～」	せんだいメディアテーク 1 階オープンスクエア	18:00-19:45	社会連携課社会連携推進室 TEL:022-217-5132 無料/1Drink 付 ※サイエンスカフェポイント対象 
公開講座 【募集中】 	1/19(土)	28 たまきさんサロン サロン講座 「生き残ってきた“在来作物” と未来に残す“種”のおはなし ～ちょっぴりお味見～」	たまきさんサロン (環境科学研究科本館1階) ■青葉山キャンパス	13:30-15:30 	せんだい環境学習館 たまきさんサロン TEL:022-214-1233 無料/抽選36名(小学生以下 要保護者同伴)/メール, はがき,FAX 申込/締切:1/8
公開講座 【申込不要】 	1/25(金)	29 第 59 回 IRIDeS 金曜フォーラム 「実務者と研究者の連携による 実践的な防災・復興」	災害科学国際研究所 1 階多目的ホール ■青葉山キャンパス	16:30-18:30	災害科学国際研究所 広報室 TEL:022-752-2049 無料 
公開講座 【申込不要】 	1/25(金)	30 第 56 回リベラルアーツサロン 「親族・家族関係からみた 日中両社会」	せんだいメディアテーク 1 階オープンスクエア	18:00-19:45	社会連携課社会連携推進室 TEL:022-217-5132 無料/1Drink 付 ※サイエンスカフェポイント対象 
公開講座 【申込不要】 	1/29(火)	31 第 9 回 東北大学病院 肝臓病教室「肝機能検査の 数字のみかた」	東北大学病院 外来診療棟 1 階 がんセンターボード室	15:00-16:00	東北大学病院 肝疾患相談室 TEL:022-717-7031 無料 

※当該記載事項は、11 月 25 日現在の情報です。記載内容等に変更がある場合もありますので、詳細については、別添のチラシを参照するか、問い合わせ先にご確認ください。

※萩友会のプレミアム会員は、割引価格でチケットを購入、また東北大学の一部施設への入館・入園料が無料になります。萩友会への加入方法や割引特典等の詳細は、「萩友会」で検索していただくか、東北大学萩友会 (022-217-5059) までお問い合わせください。

※博物館・植物園の窓口では萩友会会員証をご提示ください。

※開催日が迫っているもので申し込みが必要なものは、すでに募集を締め切っている場合がありますので、必ず問い合わせ先にご確認ください。また、募集期間が過ぎているものでも、定員に余裕がある場合は、参加申し込みを受け付ける場合がありますので、問合せ先にご確認ください。



萩友会プレミアム会員になるとお得がいっぱい！



サイエンス獲得ポイントに応じて東北大学オリジナルグッズをプレゼント！



鑑賞券のご提示で
お得なサービス！



東北大学関連 イベント詳細情報

2018.11.30～

各イベントのチラシをほぼ開催日順に掲載しています。
掲載事項（開催日時、イベント名、会場など）は
変更になる場合があります。
詳細は各お問い合わせ先にご確認ください。

GSICS TOHOKU UNIVERSITY

東北大学大学院国際文化研究科
平成30年度科長裁量経費による学術講演会
国際文化研究科主催
美食のヨーロッパ文化学
〔第4回〕

ワイン市場とワイン法のグローバル化を考える

— 競争にさらされるEU産ワイン —

近年、ワイン市場では急激なグローバル化が進行しています。EUではワインの売れ行きが伸び悩む一方で、「ニューワールド」と呼ばれる南半球や北米の国々で造られたワインがシェアを伸ばしており、日本国内では「日本ワイン」が大ブームになっています。また、国や地域によって異なるワイン法が取引の妨げになることから、ワイン法のグローバル化に向けた取り組みもみられます。この講演では、世界や日本国内のワイン市場の現況を紹介するとともに、ワイン法をめぐる各国の動きをわかりやすくお話しします。

日時 2018年11月30日(金) 16:20~17:50 (15:50 開場) 場所 東北大学川内北キャンパス マルチメディア教育研究棟6F大ホール

講師 蛸原健介
(明治学院大学法学部 グローバル法学科 教授)
(英語) けんすけ 博士(法学)。
日本ソムリエ協会「ソムリエエディタール」(名誉ソムリエ)。
専門はワイン法・公法。主筆に「はじめてのワイン法」(旺文社)。
「世界のワイン法」(日本評論社)。「読者のように学ぶフランス AOCワインガイド」(三省堂)など。

入場無料 来聴歓迎

わが国を代表するワイン法の専門家、グローバル化時代のワインが直面する諸問題について平易に解説します。どうぞ気軽にご来場ください。

●仙台市営地下鉄
東西線八木山動物公園方面行きに乗車、「川内駅」にて下車。
出口より徒歩5分。

問い合わせ先:
東北大学大学院国際文化研究科
野村研究室 (TEL/FAX:022-795-7593)

災害科学国際研究所
IRIDeS
International Research Institute of Disaster Science

平成30年 第59回 IRIDeS金曜フォーラム

日時: 11月30日(金) 16:30~
会場: 災害科学国際研究所 1階 会議・セミナー室

テーマ: 「北海道南西沖地震から25年、日本海・離島の災害研究」

内容:

- 16:30~17:00
北海道南西沖地震・奥尻島の津波被害とシミュレーション(仮題)
越村 俊一 (災害リスク研究部門)
- 17:00~17:30
地方紙における被災地報道の変化-北海道南西沖地震に関する2つの地方紙の報道から-
定池 祐季 (情報管理・社会連携部門)
- 17:30~18:00
災害と共に生きた島々
川島 秀一 (人間・社会対応研究部門)

第60回 IRIDeS金曜フォーラム:
2019年1月25日(金) 16:30~18:30
実務者と研究者の連携による実践的な防災・復興

参加費無料・申込不要
どなたでもご参加いただけます。
詳細は、ウェブサイトをご覧ください。

＜アクセス＞
仙台市地下鉄東西線「青葉山」駅南1出口
徒歩約3分。公共交通機関をご利用ください。

http://irides.tohoku.ac.jp/event/irides-forum.html

2018年度後期 物理学の最前線

主催: 東北大学大学院理学研究科物理学専攻
会場: 東北大学理学部物理系講義棟3階318号室
(地下鉄東西線 青葉山駅下車)
http://www.sci.tohoku.ac.jp/campusmap/kita-aobayama/

講演時間: 17:00-18:00
一般来聴歓迎(無料)

10月5日(金)
トポロジーが開く新しい物性物理の地平
〜トポロジカル物質〜
村上 修一氏
東京工業大学大学院 教授

11月2日(金)
陽子のサイズがおかしい?
須田 利美氏
東北大学電子光物理学研究センター 教授

11月30日(金)
超高温物理学最前線
〜宇宙の始まりはクォークのスープ?〜
平野 哲文氏
上智大学理工学部 教授

講師を囲んだ懇親会
16:30-17:00 理学部物理系講義棟3階ロビー

問合せ先: 〒980-8578 東北大学理学部物理系講義棟3階318号室
石原 照也 (t-ishihara@m.tohoku.ac.jp) / 佐々木 勝一 (ssasaki@nucl.phys.tohoku.ac.jp)
Webpage: http://www.phys.tohoku.ac.jp/butsurikagaku-saizensen/

S MMA
SENDAI MUSEUM ALLIANCE
仙台市博物館 × 東北大学史料館

近代の風景

地図・古写真・公文書でみる仙台

〈開催日時〉2018年12月2日(日) 13:30~16:00 (開場 13:00)
〈開催場所〉東北大学 片平さくらホール
(定員 156名・聴講無料・事前申し込み不要)

内容

講座1: 蓮沼素子氏 (大仙市総務部総務課アーカイブズ 主査)
「公文書から読み解く地域の記憶」(仮題)

講座2: 佐藤正実氏 (NPO法人20世紀アーカイブ仙台 副理事長・風の時間編集部 代表)
「古地図と絵ハガキで見る100年前の仙台」(仮題)

関連イベント 片平キャンパス建物ツアー 「登録有形文化財」の建物や「鲁迅の階段教室」をめぐります。
〈開催日時〉2018年12月2日(日) 12:30~13:15 定員 40名 (先着制)、直接集合場所にお越しください。
〈集合場所〉東北大学 片平さくらホール 1階ロビー

仙台市博物館 〒980-0862 仙台市青葉区川内26番地 (Tel) 022-225-3074

東北大学史料館 〒980-8577 仙台市青葉区片平2-1-1 (Mail) desk-tua@grp.tohoku.ac.jp (Tel) 022-217-5040

S MMAウェブサイト www.smma.jp

●片平さくらホールへのアクセス
・仙台市地下鉄東西線青葉山駅(南1出口)・同南北線五橋駅(北2出口)より徒歩10分
・仙台駅西口バス乗り場11番より乗車、東北大学前下車徒歩5分
※会場には駐車場がありませんので、上記公共交通機関をご利用ください。



二〇一八年コスモス国際賞受賞記念講演会
特別対談

風土学
オギユスタン・ベルク

東北学
赤坂憲雄



2018年コスモス国際賞受賞者
オギユスタン・ベルク
フランス国立社会科学高等研究院教授

哲学者、近代思想の風土観の批判・深化、
見識、および「風土」・「モノ」・「コト」のフェー
ドバックによる思考から、従来の西洋的自然
観に基づいた環境科学や環境倫理等とは異な
る東洋的自然観に基づいた環境学「風土
学」の創出。

持続可能性の風土学的基盤

2018年12月2(日)午後1時30分～午後4時30分

仙台国際ホテル 参加費無料
要事前登録

◆ご来場の皆様にお花の球根プレゼント

住所・氏名・年齢・電話番号を明記のうえ、はがき、Eメール、FAXのいずれかでお申込みください。
QRコードからもお申込みいただけます。

【はがき】〒538-0036 大阪市鶴見区緑地公園2-136

【Eメール】 shizen@expo-cosmos.or.jp

花博記念協会「コスモス国際賞講演会(仙台)」係

【FAX】 06-6915-4524

主催：公益財団法人国際花と緑の博覧会記念協会

共催：東北大学研究推進・支援機関の創出センター、宮城大学事業推進部(予定)、総合地球環境学研究所

後援：河北新報社

お問合せ：公益財団法人国際花と緑の博覧会記念協会 企画事業部第一課 TEL: 06-6915-4516(平日9:30～17:30)



主催：東北大学東北アジア研究センター
共催：指定国立大学災害科学世界トップレベル研究拠点
災害人文科学ユニット

プログラム
映画上映 | 18:15～19:50
意見交換 | 20:00～20:30

意見交換 登壇者

小西晴子氏
(「赤浜ロックンロール」監督)
坂口奈央氏
(東北大学大学院文学研究科博士課程後期課程)

会場

東北大学川内北キャンパス
講義棟B棟101室
(宮城県仙台市青葉区川内41)

交通アクセス

・駐車場はございません。地下鉄東西線をご利用ください。
(最寄駅：キャンパス直結：川内駅)
・東北大学インタラクティブマップでは位置情報の取得が可能です。「川内 講義棟B棟」と検索してご利用ください。
(http://www.tohoku.ac.jp/map/ja/)

参加費 無料
参加定員 100名
問い合わせ先 saigaijinbungaku@gmail.com

災害人文科学研究会
2018年度第6回研究会
ドキュメンタリー映画
『赤浜ロックンロール』を観る

INNOVATION FORUM in SENDAI 2018

イノベーションフォーラム

独自のオリジナルリーダーの創出から破壊的イノベーションに繋げる視野を如何にして開くか
MITメディアラボ石井裕教授の基調講演によるメッセージを受け、起業家やアントレプレナー育成者、
学生等による討議を行い、東北から世界へイノベーションを起こすような独創的な起業家を輩出する
土壌を創るきっかけとなることを目的として開催します。

東北から、世界を変えろ。

12/4 TUE, 13:30~

@仙台市中小企業活性化センター 多目的ホール
(仙台市青葉区中央1-3-1 AER5F)
定員 250名 ... どなたでも参加いただけます。

マサチューセッツ工科大学(MIT)メディアラボ所長 教授
石井 裕 氏

第一部 基調講演「破壊的イノベーション」～未来のアントレプレナーへ向けて～
MITメディアラボ所長 石井 裕 教授
第二部 パネルディスカッション「未来のアントレプレナーに向けて」
コメンテーター：MITメディアラボ所長 石井 裕 教授
第三部 ショートパネルディスカッション
「アントレプレナーシップ醸成のためにできることは何か」
パネリスト：EDGE-NEXTコンソーシアム関係者、起業支援機関

主催：EARTH ON EDGE (東北大学EDGE-NEXTコンソーシアム)、仙台市
共催：イノベーション教育学会
本イベントは文部科学省「平成30年度次世代アントレプレナー育成事業(EDGE-NEXT)」により実施するものです。

お問い合わせ
「仙台でイノベーションを促す3日間」事務局(東北大学)ウェブサイト: <http://edge-next.aug.tohoku.ac.jp/>
TEL: 022-755-5281 E-mail: innovation@edge-next.tohoku.ac.jp
Facebook: <https://www.facebook.com/karushidog2017/>

COI 東北拠点シンポジウム

人生100年時代の健康戦略

「旅」が生み出すヘルスケアの進化系

趣旨 迫り来る人生100年時代、これまでになかった長寿とどう生きていくかが人生の大きな課題となっています。独居世帯の急増などによる社会問題も増えていく中、本シンポジウムでは、「旅」が生み出すヘルスケアの進化系として、未来の「旅」の新しいカタチ、そして、そこで求められるソリューションについて提言を行い、企業、大学の視点、地方自治体の視点、それぞれから議論を深めることで、人生100年時代の健康戦略を考えます。

日時 平成30年 12/5 水 13:00～17:00
[12:00開場、受付開始]

定員 先着 200名
お申込みはHPから
COI東北 協賛
http://www.coi-tohoku.ac.jp

会場 日本橋コレド室町3
〒103-0022 東京都中央区日本橋室町1-5-5
室町3ばざん三井ビルディング8階
日本橋ライフサイエンスハブ 会議室

プログラム

13:00 来賓挨拶 文部科学省 科学技術・学術政策局 (調整中)
国立研究開発法人科学技術振興機構 ビジネス1 ビジネリアーリーダー 松田 謙

13:10 基調報告①
COI東北拠点で巻き起こす「旅」と暮らしのパラダイム・シフト
COI東北拠点 拠点長/プロジェクト統括 (PL) NECソリューションイノベーション部部長/プロジェクトマネージャー 和賀 巖

13:20 パネルディスカッション
人生100年時代の「旅」と健康
① 地域産業・小企業連携の現状と課題：「旅」の活用とCOI東北拠点への期待
COI統括VL推進、名古屋大学 総長補佐 水野 正明
② 地方自治体の取組事例の紹介(ハルマーズ/イズム/地域活性化) 山形県山形市クアール推進室長 佐々木 慶
③ 人も自然もワクワクするネットワーク社会
東北大学道徳科学研究所 助教 鈴木 杏奈

13:30 主催者等挨拶 東北大学 理事 矢島 敬雅
株式会社JTB 常務執行役員 古野 浩樹

13:40 基調講演
JTBの取り組み
ヘルスケア・ソリューションと未来の「旅」のかたち
株式会社JTB 第一般財団法人 日本健康開発財団
ヘルスケア・ソリューション研究部長 高橋 伸佳

14:05 基調報告②
「旅」を通じて健康になるための
デバイス・サービス・インタラクション
COI東北拠点 拠点長/研究統括 (RL) 東北大学大学院環境科学研究科 教授 末永 智一

14:30 休憩

14:50 閉会の挨拶 研究統括 (RL) 末永 智一

15:05 交流会 (会費：4,000円)
※別途、参加申込みください。※会費は、当日受付で徴収いたします。

【主催】 国立大学法人 東北大学
革新的イノベーション研究プロジェクト
【共催】 株式会社 JTB
【お問い合わせ】 東北大学 イノベーション戦略推進センター 事務支援室 E-mail: promo-innov-koho@grp.tohoku.ac.jp



第20回 東北大学

かたひらロビーミニコンサート

2018年12月13日(木)
12:10 ~ 12:50

バルトーク：ルーマニア民族舞曲
イングランド民謡：グリーンズリプス
クリスマスソング

ほか

※プログラムは変更になる場合がございます。

入場無料
予約不要
演奏中に入退場自由

主催・お問合せ：
東北大学 総務企画部 社会連携課 社会連携推進係
Tel:022-217-5132

会場：
東北大学片平北門会館
(片平キャンパス北門前 さくらキッチン隣り)

※開催の様子をカメラ等で撮影し、その写真をホームページ等の
広報用に使用することがありますのでご了承ください。



Press Release

平成30年11月16日

報道機関 各位

故 西澤潤一先生追悼の会実行委員会(仮称)

元東北大学総長 故 西澤潤一先生の追悼の会について

本年10月にご逝去されました 元東北大学総長 故 西澤潤一先生の追悼の会を下記のとおり執り行いますので、お知らせします。

記

日 時：平成30年12月16日(日) 14:00~16:00
当日は、多くの関係者のご参列が見込まれます。
一般の方につきましては、15時からの献花にご協力をお願いいたします。

会 場：ウェスティンホテル仙台(仙台市青葉区一番町1-9-1)
2階グランドボールルーム/3階エルミタージュ

その他：御香典・御供花・御供物の儀は固くご辞退いたします。
平服にてご参列ください。
駐車場台数に限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。

【問合せ先】

故 西澤潤一先生追悼の会実行委員会(仮称)
(事務局：東北大学総務企画部総務課)
TEL:022(217)4807

東北大学サイエンスキャンパス体験型科学教室

日立サイエンスセミナー

「知っている物の知らない世界」
電子顕微鏡を使って観察しよう!



協力：(株)日立ハイテクノロジーズ

電子顕微鏡を利用して大きく拡大することで、見えなかったものが見えるようになり、ヨーグルトのふたや無痛針など、社会を豊かにする新しい技術や製品が生み出されていることを学びます。
参加者自身が持参した試料、ヒトの髪の毛や花粉などを自分で電子顕微鏡を操作して、普段見慣れている物の見えないミクロの世界を観察しましょう。

日 時：平成30年12月15日(土) ① 10:00 ~ 12:00
② 13:30 ~ 15:30

会 場：東北大学サイエンスキャンパスホール
仙台市青葉区荒巻字青葉6-6-04 (東北大学青葉山キャンパス内管理棟1階)

募 集：小学6年生~中学生 各回12名(抽選)

参加費：無料(傷害保険は大学で加入済み)

持ち物：電子顕微鏡で観察したい物(試料)

アクセス：地下鉄東西線「青葉山駅」徒歩7分

申込み：11月15日(木)~12月2日(日)

https://science-community.jp/

申込先：電話 022(795) 5047

mail tsc@grp.tohoku.ac.jp

備 考：各自に観察したい試料を持参して頂きます。
液体、氷、ゲル状のものや磁石、また真空に
すると破裂する恐れのある物は観察できません。

※東北大学サイエンスキャンパスは東北大学工学研究科・工学部サイエンスキャンパスの略称です。



主催：東北大学工学研究科・工学部 創造工学センター
東北大学工学研究科・工学部 工学教育院

後援：宮城県教育委員会 仙台市教育委員会
協力：特定非営利活動法人 natural science

2018年度 東北大学経営セミナー in 登米

地域の中小企業の事業革新

～生き残りを賭けた事業のイノベーションの考え方～

これから5年後、10年後に地域で生き残れる中小企業には、新たな発想によるマーケティングや事業革新が不可欠です。では、既存の製品やサービスをどのように作り変えていくべきか、そして事業そのものを革新すべきなのか。当セミナーではこれらの考え方のヒントを提供します。

日 時：平成30年 12月19日(水) 17:30~19:30
(受付開始 17:00)

場 所：中田農村環境改善センター 1階 多目的ホール
(登米市中田町上沼字西桜場18)

定 員：20名

参加費：無料

講師

東北大学大学院経済学研究科・教授
同地域イノベーション研究センター長

藤本 雅彦



本学では、地域企業、特に中小企業の経営人材を対象に、革新的なイノベーションによる新事業の開発を促進し、地域における新たな雇用機会の創出と産業振興に貢献できる人材を育成する「地域イノベーションプロデューサー塾」を開講しており、当塾への理解を深めていただくことも目的としています。

主 催：東北大学大学院経済学研究科 地域イノベーション研究センター
共 催：登米市



お申し込み・お問い合わせ先：
東北大学大学院経済学研究科 地域イノベーション研究センター
TEL:022-217-6265 FAX:022-217-6266
E-mail: rips@grp.tohoku.ac.jp
登米市産業経済部 産業連携推進課
TEL:0220-34-2549 FAX:0220-34-2801

ImPACT シンポジウム
ImPACTが変革する災害対応

2018年12月20日(木) 13:00~16:25
※12:30開場
TKPガーデンシティPREMIUM仙台東口
(宮城県仙台市宮城野区榴岡3-4-1)

プログラム

13:00 開会挨拶
13:05 【白坂プログラム】
小型合成開口レーダ衛星システムによる災害の
オンデマンド即時観測
白坂成功 プログラム・マネージャー

13:35 【田所プログラム】
ImPACT「タフ・ロボティクス・チャレンジ」の成果
田所論 プログラム・マネージャー

14:05 【田所プログラム】
ドローンを用いた災害現場の情報収集
野波健蔵 (株) 自律制御システム研究所 取締役 会長

14:35 休憩
14:50 【田所プログラム】
浮上型索状ロボットによる災害対応イノベーション
昆陽雅司 東北大学大学院情報科学研究科 准教授

15:20 【田所プログラム】
サイバー救助犬
大野和則 東北大学未来科学技術共同研究センター 准教授

15:50 【原田(博)プログラム】
「社会リスクを低減する超ビッグデータプラットフォーム」が
実現する長距離無線通信
原田博司 プログラム・マネージャー

16:20 閉会挨拶
※併設会場にて展示・デモ

参加申込み
ホームページより事前登録 (入場無料)
<https://www.jst.go.jp/impact/sympo/20181220/>

主催: 内閣府
国立研究開発法人科学技術振興機構
後援: 一般社団法人産業競争力会議(COCON)

お問い合わせ
国立研究開発法人科学技術振興機構
革新的研究開発推進室 シンポジウム担当
TEL: 03-6380-9012 impact-pr@jst.go.jp

将来の巨大地震を考える in CHIBA

必ず来る南海トラフ巨大地震、首都直下地震に備えて、スロースリップ地震などの最新の地震研究の現状を紹介し、防災意識を高めてもらうことを目的とする講演会を開催します。東日本大震災の被害状況などを紹介するパネル展示や、東日本大震災の震災遺構の3Dデジタルアーカイブ映像のバーチャルリアリティ (VR) 体験展示※も行います。

開催日: 平成30年 **12月22日(土)**

会場: TKP ガーデンシティ千葉3階シンフォニアA

先着300名さま (席がなくなり次第、立ち見となります)

講演会: 13:00 ~ 17:00

展示会場: 3階シンフォニアA前ホワイエ

展示会開催時間: 10:00 ~ 17:00

参加費: **無料**

主催: 千葉大学、東北大学総合芸術博物館

共催: 千葉県、東北大学災害科学国際研究所

後援: 千葉県旭市、地震・津波対策を考える都道府県議会議員連盟

問合せ先: 東北大学総合芸術博物館 宮城県仙台市青葉区荒巻青葉6-3 TEL/FAX: 022-795-6767

千葉大学大学院理学研究部 地球科学研究部門 FAX: 043-290-2859

会場アクセス

所在地 千260-0025

千葉県千葉市中央区間屋町1-45

カンデオホテルズ千葉内

TKP ガーデンシティ千葉

●JR京葉線 千葉みなと駅

幸町・千葉港・間屋町方面出口 徒歩11分

幸町・千葉港・間屋町方面出口 バス5分

●JR総武線 千葉駅東口

バス 約10分

●千葉モノレール1号線 市役所前駅

出入口1 徒歩7分

●京成電鉄 千葉中央駅

西口 徒歩9分



東北大学 SDGs シンポジウム
持続可能な開発目標 (SDGs) の達成とグローバル人材

Photo: Hudson

持続可能な開発目標 (SDGs) の達成に向けて、グローバル人材の育成という観点から、日本として、政府として、あるいは大学、地域、企業、市民として何ができるか、とりわけ、東日本大震災など災害の経験も踏まえ、世界にどのような発信ができるか、産学官地域のそれぞれの立場から議論します。

基調講演

国谷 裕子 キャスター、東京藝術大学理事/慶応義塾大学特任教授
今村 文彦 東北大学災害科学国際研究所所長・教授
末吉 竹二郎 国連環境計画・金融イニシアチブ (UNEP FI) 特別顧問、公益財団法人自然エネルギー財団副理事長
政府関係者 調整中

パネルディスカッション

須藤 勝義 国際協力機構 (JICA 東北) 所長
瀧美 巖 宮城県東松島市長
辰野 まどか 一般社団法人グローバル教育推進プロジェクト (GEP) 代表理事
藤井 史朗 MS&AD インシュアランスグループホールディングス株式会社取締役副社長執行役員 グループ CFO
劉 庭秀 東北大学大学院国際文化研究科教授

主催: 東北大学、東北大学大学院国際文化研究科
共催: MS&AD インシュアランスグループホールディングス株式会社、東北大学災害科学国際研究所
後援: 外務省、環境省、宮城県、仙台市、東松島市、国際協力機構、河北新報、MS&AD インターリスク総研

2018年 **12/21** 金
13:00~17:30 (受付開始 12:30)
参加無料・定員700名
仙台国際センター・桜
仙台市地下鉄東西線「国際センター」駅 徒歩1分

持続可能な開発目標 (SDGs) とは?

2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に基づき、2016年から2030年までの国際目標です。持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の誰一人として取り残さない (leave no one behind) ことを誓っています。SDGsは発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むものであり、日本の政府や企業も積極的に取り組んでいます。

プログラム

主催者挨拶

大野 英男 東北大学総長

基調講演

国谷 裕子 キャスター、東京藝術大学理事/慶応義塾大学特任教授
今村 文彦 東北大学災害科学国際研究所所長・教授
末吉 竹二郎 国連環境計画・金融イニシアチブ (UNEP FI) 特別顧問、公益財団法人自然エネルギー財団副理事長

政府関係者

調整中

パネルディスカッション

須藤 勝義 国際協力機構 (JICA 東北) 所長
瀧美 巖 宮城県東松島市長
辰野 まどか 一般社団法人グローバル教育推進プロジェクト (GEP) 代表理事
藤井 史朗 MS&AD インシュアランスグループホールディングス株式会社取締役副社長執行役員 グループ CFO
劉 庭秀 東北大学大学院国際文化研究科教授

開会の挨拶

小野 尚之 東北大学大学院国際文化研究科長・教授

※講演者・講演内容・スケジュールは事前の予告なく変更となる場合がございます。あらかじめご了承ください。

本シンポジウムについて

東北大学大学院国際文化研究科では、持続可能な開発に向けた人材育成や知の創出に資するため、2019年度より、新たに「グローバルガバナンスと持続可能な開発プログラム (G2SD)」を開講するとともに、MS&AD インシュアランスグループホールディングス株式会社より寄付金を受け、寄付講座の開講を予定しています。本シンポジウムは、これを記念して開催するものです。

G2SD Graduate Program in Global Governance & Sustainable Development

グローバルガバナンスと持続可能な開発プログラム (G2SD) は、東北大学大学院国際文化研究科が提供する新しい学際プログラムです。グローバルガバナンスと持続可能な開発という相互に関連した大規模な課題に取り組む能力を、最先端の理論と最先端の知の研究成果を駆使して育成します。

<http://www.intcul.tohoku.ac.jp/g2sd>

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標

国谷 裕子 くにやひろこ
キャスター、東京藝術大学理事/慶応義塾大学特任教授
東京藝術大学理事、NHK 衛星放送「ワールドニュース」のキャスターを経て、1990年から2016年までNHK「アジア」のキャスターとして、NHKの海外取材、報道活動を行なっている。自然エネルギー財団理事、環境省自然エネルギー大使も務めている。42 年報道記者、11 年日本記者クラブ役員、著書に「エネルギーと未来」(文芸春秋)。

今村 文彦 いまむらふみこ
東北大学災害科学国際研究所所長・教授
東北大学大学院工学研究科教授、同大学院工学研究科附属災害科学国際センター助教授、助教授を経て、2014 年より現職。専門は津波工学・自然災害科学で、津波被害軽減を目的とし、津波被害のシステム解析や太平洋の沿岸防災等の研究を数多く実施。津波防災技術移転国際プロジェクト TIME の代表、中央防災会議専門調査会委員、東北大学災害科学国際研究所所長。主な受賞は、NHK 放送文化賞 (平成26 年)、文部科学省表彰 (平成27 年)。

末吉 竹二郎 すえよし たけじろう
国連環境計画・金融イニシアチブ (UNEP FI) 特別顧問、公益財団法人自然エネルギー財団副理事長
長年の業界での経験をバックに「金融と環境問題」をテーマに、金融界の方向性やCSR経営などについて、講演、講演、著書などでも多くに寄与。

須藤 勝義 国際協力機構 (JICA 東北) 所長
瀧美 巖 宮城県東松島市長
辰野 まどか 一般社団法人グローバル教育推進プロジェクト (GEP) 代表理事

藤井 史朗 MS&AD インシュアランスグループホールディングス株式会社取締役副社長執行役員 グループ CFO
劉 庭秀 東北大学大学院国際文化研究科教授

参加お申込み
以下の URL からお申し込み下さい。
<http://www.intcul.tohoku.ac.jp/g2sd/2018sdgs>
※ 定員に達しない、お申込みを締め切らせて頂きます。
シンポジウム事務局
〒601-8141 京都市中京区京正寺町 334
11 階 25 号 CS センター内
TEL: 075-351-7920 FAX: 075-351-7929
ミックス 認定企業
FSC C02181

マルハナバチって、どんなハチ？



～カードゲームとお話で楽しむ、
ハナバチと花の世界～

講師：東北大学生命科学研究科 学振特別研究員RPD
小林知里 氏・大野ゆかり 氏

マルハナバチの生態や花との関わりについてのお話の後、マルハナバチと花の関係について学べるカードゲーム“まる花札”で遊びます。

日時：12月22日(土) 13時30分～15時00分

申込締切：12月11日(火) ※抽選後、当選者にご連絡

定員：20人 (小学3年生以上、小学生以下は保護者同伴)

会場：せんだい環境学習館 たまきさんサロン
(仙台市青葉区荒巻字青葉468-1)

お申し込み方法

メールまたはハガキ、FAXに必要事項(講座名・参加者全員の氏名・年齢・住所・電話番号)をご記入の上、下記までお申し込みください。



ーサロン講座は毎月開催中です！
詳しくはホームページをご覧ください。

お申し込み・お問い合わせ先 たまきさんサロン

〒980-0845 仙台市青葉区荒巻字青葉468-1 東北大学青葉山新キャンパス内
東北大学大学院環境科学研究科本館(J22)1階
平日：10:00-20:30 土日祝：10:00-17:00
休館日：月曜(月曜が休日の場合は、その翌日)
祝日の翌日、年末年始
TEL:022-214-1233 FAX:022-393-5038
メール:tamaki3salon@city.sendai.jp
ホームページ:https://www.tamaki3.jp

※このチラシは「雑がみ」としてリサイクルできます



地下鉄東西線「青葉山」駅1出口より右手(農学部方面)に徒歩3分



知のプレミアム

知のフォーラムは、日本で初めての訪問型研究センターとして、ノーベル賞受賞者やフィールズ賞受賞者をはじめ世界トップクラスの研究者を招聘し、未来社会への課題解決、次世代に向けた新しい研究分野の創成に向けた議論を行うための場を提供しています。2013年10月から活動をはじめ、ここに5周年を迎えました。これを機会に、知のフォーラムの活動を広く知っていただくため、知のフォーラム5周年記念企画「知のフォーラム プレミアム」を開催いたします。

2019年1月11日(金) 16:00-19:30 (開場 15:30)

会場：日本橋ライフサイエンスハブ E会議室
東京都中央区日本橋室町1-5-5 (室町ちばさんビルディング8階)

講演会 (16:00-18:00)

講演 1

未来型医療への挑戦：
錆びない体をめざして

東北大学
東北メディカル・メガバンク機構長
山本 雅之 教授

講演 2

ニュートリノで調べる
地球の成り立ちと宇宙
の物質の起源

東北大学
ニュートリノ科学センター長
井上 邦雄 教授

交流会 (18:00-19:30) ※交流会へご参加いただく際は、会費として2,000円を当日受付にて申し受けます。

定員：150名 登録締切：2018年12月7日(金) ※定員になり次第締め切ります。

登録方法：FAXまたは以下のURLからお申し込みください。
※ FAXでのお申し込みの際は、お名前、年齢、ご住所、電話番号、FAX番号、参加人数、交流会への参加の有無を
お知らせください。

【登録・お問い合わせ先】 東北大学研究推進・支援機構知の創出センター事務局

TEL 022-217-6091 FAX 022-217-6293
URL http://www.tfc.tohoku.ac.jp/5th-anniv/premium/



主催：東北大学研究推進・支援機構知の創出センター 共催：東北大学経営企画部社会連携課、広報室 東北大学校友会 東京エレクトロン株式会社 TEL

5 東北
周年 大学
記念 知の
企画 フォーラム

生き残ってきた“在来作物”と 未来に残す“種”のおはなし ～ちよっぴりお味見～

講師：野菜ソムリエプロ フードコーディネーター カワシマ ヨウコ 氏

日時：平成31年1月19日(土) 13:30～15:30

場所：せんだい環境学習館 たまきさんサロン

定員：36名 (小学生以下は保護者同伴) ※申込締切：1月8日(抽選)

土地や気候変動に合わせ変化しながら生き残った“在来作物”の種を探り守る人がいます。
そこでしか味わえない野菜“在来作物”を未来に残す大切さを学びます。



大島かぶ



森合あさつき



長下田ウリ種

お申し込み方法

メールまたはハガキ、FAXに必要事項(講座名・参加者氏名・年齢・住所・電話番号)をご記入の上、お申し込みください。 ※抽選後、当選者にご連絡いたします。

お申し込み・お問い合わせ先

せんだい環境学習館
たまきさんサロン
〒980-0845 仙台市青葉区荒巻字青葉468-1
東北大学青葉山新キャンパス内東北大学大学院環境科学研究科本館(J22)1階
平日：10:00-20:30 土日祝：10:00-17:00 TEL:022-214-1233
休館日：月曜(月曜が休日の場合は、その翌日) FAX:022-393-5038
祝日の翌日、年末年始 メール:tamaki3salon@city.sendai.jp
ホームページ https://www.tamaki3.jp/

※このチラシは「雑がみ」としてリサイクルできます



サロン講座は毎月開催中です！
詳しくはホームページをご覧ください。



地下鉄東西線「青葉山」駅1出口より
右手(農学部方面)に徒歩3分

東北大学 災害科学国際研究所

災害科学国際研究所
IRIDeS
International Research Institute of Disaster Science

IRIDeS 金曜フォーラム

平成 30 年度の開催予定

研究の
連携・融合

研究活動の
情報共有

第53回 5月25日(金)
「災害研のビジョンに向けて」
第54回 6月22日(金)
「宮城県沖地震から40年
岩手・宮城内陸地震から10年」

参加費、申し込みなしで
ご参加いただけます。



第55回 7月21日(土) 9:00～17:00 (開催時間が通常と異なります。)
「平成29年度共同研究成果報告会およびプロジェクトエリア・ユニット報告会」

第56回 8月31日(金)

「四川地震から10年」

第57回 9月28日(金)

「ディープタイムディスカッション
～学際的な災害研究の課題と展望～」

第58回 10月26日(金)

「若手研究者が見据える災害科学研究」

第59回 11月30日(金)

「北海道南西沖地震から25年、
日本海・離島の災害研究」

第60回 1月25日(金)

「実務者と研究者の連携による
実践的な防災・復興」

第61回 2月22日(金)

「ディープタイムディスカッション
～研究部門交流発表会～」

【時間】 16:30～

【会場】 災害科学国際研究所
1階 会議・セミナー室

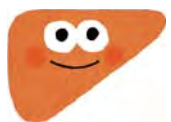
詳細はウェブサイトをご覧ください。

http://irides.tohoku.ac.jp/event/irides-forum.html



<アクセス>
仙台市地下鉄東西線「青葉山」駅南1出口
徒歩約3分。公共交通機関をご利用ください。





第9回 東北大学病院 肝臓病教室のお知らせ

このたび、肝臓の病気をお持ちの患者さんとそのご家族などを対象に肝臓病教室を開催いたします。ご興味のある方はどなたでもお気軽にご参加下さい。



日時：2019年1月29日（火）

15時00分～16時00分

場所：東北大学病院外来1階 キャンサーボード室

テーマ「**肝機能検査の数字のみかた**」

講師：東北大学病院 消化器内科

高井 智 先生

ご参加いただいた方からのご質問にお答えするコーナーや、お話し合いの機会も設けたいと思います。

問い合わせ先：022-717-7031（肝疾患相談室）



東北大学アンテナ

東北大学の先生の話がここでも！



曜日	番組内容
日	毎日新聞・日曜 脳を鍛えたい／脳トレ川柳 川島隆太教授（加齢医学研究所）
日	Datefmエフエム仙台 SUNDAY MORNING WAVE（8:25-8:55） 『地震に自信を』『東北大学防災UPDATES!』 今村文彦教授（災害科学国際研究所） forever green radio（9:30-9:55） 陶山 佳久准教授（農学研究科）
第2・4水	読売新聞（地方） 東北大学医学部教授リレーコラム 星陵の学びやから 医学系研究科教授など
木	河北新報（夕刊）木曜 川島&滝のスマート・エイジング 川島隆太教授・滝靖之教授（加齢医学研究所）
土	河北新報 土曜 東北大30の挑戦—社会にインパクトのある研究—
第1・3金	河北新報（くらし面） 気になる症状すっきり診断 東北大病院専門ドクターに聞く
日月 水金	J:COM（ケーブルテレビ） 日 18:00- 月 19:00- 水 22:00- 金 19:00- サイエンスカフェ・リベラルアーツサロン
随時	読売新聞ONLINE 東北大病院100年 http://www.yomiuri.co.jp/local/miyagi/feature/C0017751/
随時	河北新報 リレーエッセー 医進伝心（アーカイブ） http://www.megabank.tohoku.ac.jp/tommo/community/ishin



川内第2食堂

普通カレー

～人はそれを貧食カレーと呼んだ!～

1967年の開店以来、東北大学生の胃袋と懐を支え、惜しまれつつも2008年に四十余年の歴史に幕を下ろした川内第2食堂（教養部第2食堂）。「貧食」の愛称で親しまれた食堂の定番メニュー「普通カレー」を当時を知る卒業生と元店長監修のもと復刻しました。

● 商品概要

オリジナルレトルトカレー

「川内第2食堂普通カレー」

販売元：東北大学生協

発売：2018年9月20日

内容量：200グラム

価格：1箱378円（税込み）

【製品に関するお問い合わせ】

東北大学生協さくらショップ

電話：022-264-0706

E-mail：hsb@tohoku.u-coop.or.jp

(*を@に置き換えてください)

★ 通信販売でお求めいただけます

<https://www.tohoku.u-coop.or.jp/shopping/goods/>

売上の7%が東北大学基金に寄附されます



好評
発売中!

東北大学ポケットガイド

テクルペ

東北大学へようこそ！
今日はどちらへ？何をしに？
食う観るところに買うところ。
テクテク、クルクル、探してね！
テクルペ持って、行ッテクルペ！



公開施設 / イベント / 散策 / 食事 etc. の情報GET!

このQRを読み込んでね! →

または テクルペ 検索

東北大学の先生たちが書いたコラムも読めるよ!



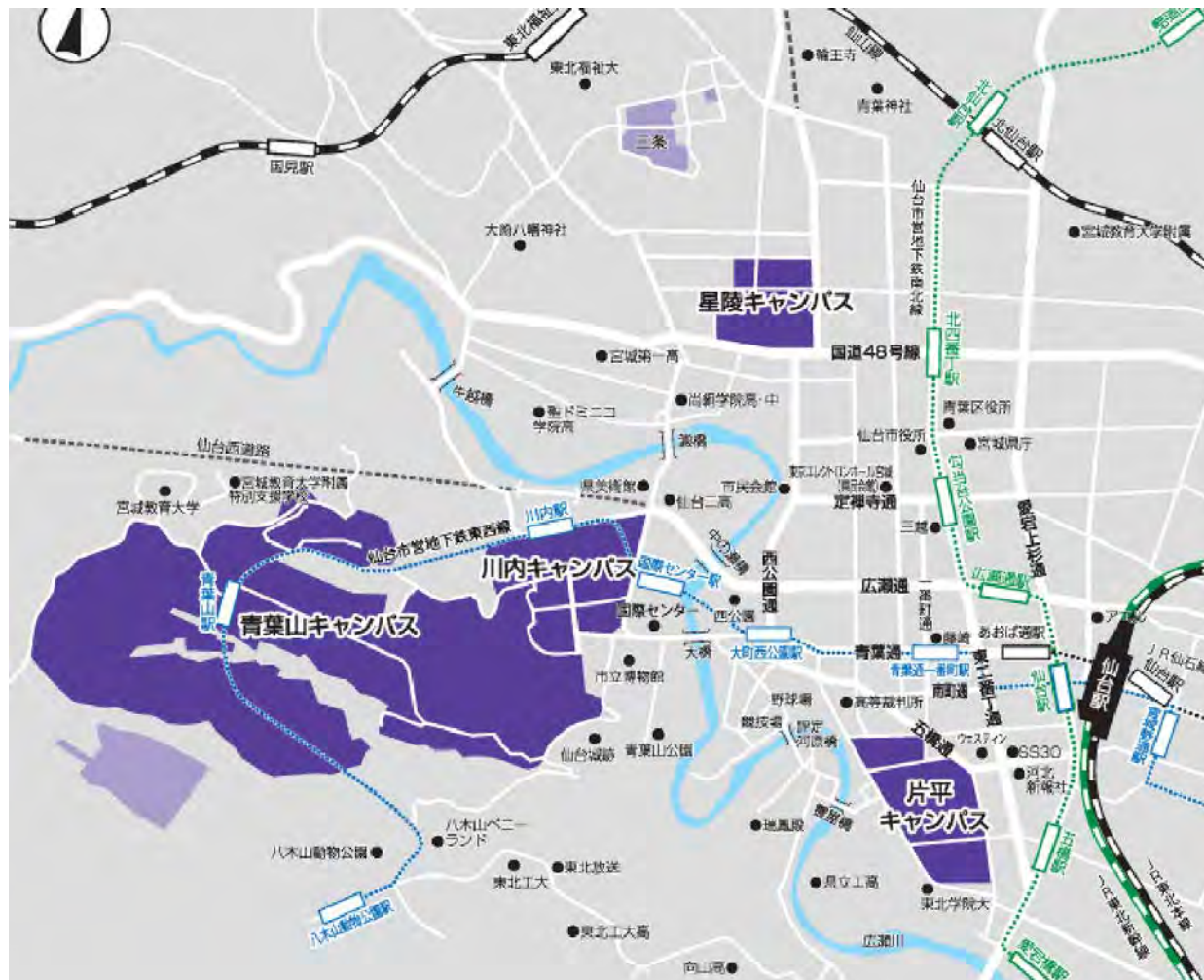
テクルペは東北大学の来訪者向けウェブサービスです。

東北大学一般公開施設一覧

キャンパス	施設名	開館時間	休館日	問合せ・その他
片平	魯迅の階段教室 (旧仙台医学専門学校六号教室)	10:00～16:00	土・日・祝日、 6/22、 夏季休業日、 年末年始	総務企画部 社会連携課 022-217-6090 ※1週間前までに要予約。 学術目的でのみ公開
片平	東北大学史料館	10:00～17:00 ※12:00～13:00は 閲覧室休み	土・日・祝日、 夏季休業日、 年末年始	東北大学史料館 022-217-5040 無料
片平	本多記念室 ・資料展示室	9:00～16:30	土・日・祝日、 夏季休業日、 年末年始	金属材料研究所 情報企画室広報班 022-215-2144 無料 ※案内希望の場合10日前までに連絡
片平	エクステンション 教育研究棟 1F広報展示スペース	8:30～17:15	土・日・祝日、 夏季休業日、 年末年始	総務企画部社会連携課 022-217-4816 無料
川内	東北大学植物園 	9:00～17:00 (春分の日-11/30)	月曜定休 (月曜祝日の場合 祝日明け)	東北大学植物園 022-795-6760 大人：230円 小中学生：110円 ※秋友会プレミアム会員は入園無料 ※団体料金、年間パスポート等あり。
川内	西澤記念資料室	9:00～16:00	土・日・祝日	教育・学生支援部 入試課 022-795-4804 無料
川内	東北大学百周年記念会館 (川内萩ホール)展示ギャラリー ※改修工事のため2019/5/21 まで全館閉館	9:30～17:00	火、年末年始	川内萩ホール 022-795-3391 無料
青葉山	自動車の過去・未来館	8:00～20:00	年中無休	機械系広報推進室 022-795-4043 無料
青葉山	東北大学理学部 自然史標本館 (総合学術博物館) 	10:00～16:00	月曜定休 (月曜祝日の場合 祝日明け)	東北大学総合学術博物館 022-795-6767 (個人) 大人：150円 小中学生：80円 ※秋友会プレミアム会員は入館無料 ※団体料金(20名以上)あり
青葉山	東北大学大学院薬学研究科 ・薬学部 附属薬用植物園	9:00～17:00	土・日・祝日	附属薬用植物園 022-795-6799 無料 ※園内の案内や解説は事前連絡
青葉山	分散コンピュータ博物館 (サイバーサイエンス センター展示室)	9:00～17:00	土・日・祝日	サイバーサイエンスセンター 022-795-3406 無料 ※説明、10名以上の見学時 は要事前連絡
青葉山	せんだい環境学習館 たまきさんサロン (環境科学研究科1階)	平日 10:00～20:30 土日祝 10:00～17:00	月曜(月曜が休日 の場合その翌日)、 祝日の翌日、年末 年始	せんだい環境学習館 たまきさんサロン 022-214-1233 無料
その他	阿部次郎記念館	10:00～16:00	日、月、水、金 祝日、月末日、 12/28-1/4	阿部次郎記念館 青葉区米ヶ袋3丁目4-29 022-267-3284 無料

キャンパスマップ

各キャンパスまでは、下記の地図を参照の上ご来場ください。



■ 片平キャンパス

(地下鉄)

五橋駅 (仙台市地下鉄南北線)

北2口から徒歩約10分

青葉通一番町駅 (仙台市地下鉄東西線)

南1口から徒歩約10分

(バス)

仙台市営バス仙台駅前11番乗り場から「(東北大学病院前－八木山動物公園駅)八木山動物公園駅行」か「(東北大学病院前－緑ヶ丘三丁目)緑ヶ丘三丁目行」か「(東北大学病院前－西高校入口)西高校入口行」で約5分東北大学正門前下車



【片平】

■ 川内キャンパス

(地下鉄) 川内駅 (仙台市地下鉄東西線)

キャンパス直結

国際センター駅 (仙台市地下鉄東西線)

西1口より徒歩約5分



【川内】

■ 青葉山キャンパス

(地下鉄) 青葉山駅 (仙台市地下鉄東西線)

キャンパス直結



【青葉山】

■ 星陵キャンパス

(地下鉄)

北四番丁駅 (仙台市地下鉄南北線)

北2口より徒歩約15分

(バス)

仙台市営バス仙台駅前9番乗り場「北山・子平町循環」

10番、15-1,15-2番乗り場 東北大学病院経由 東北大学病院前 下車

13番、14番のりば 東北大学病院経由北山トンネル・中山経由か山手町・中山経由 東北大学病院前下車か歯学部・東北会病院前下車

60番乗り場 交通局東北大学病院前行 交通局東北大学病院前下車 いずれも所要時間20分



【星陵】

「まなぶひと」のおもな配架場所

【片平キャンパス】北門会館(エントランス・萩友会ラウンジ)、北門守衛室、エクステンション教育研究棟、本部棟エントランス、史料館 【川内キャンパス】川内萩ホール、附属図書館本館、川内厚生会館 【青葉山キャンパス】総合学術博物館、工学部購買部 【星陵キャンパス】東北大学病院 【その他】国際センター駅、せんだいメディアテークフリーペーパーコーナー、仙台市市民活動サポートセンター、市民センター (一部)

